

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	非小細胞肺癌
治療法	キイトルーダ単独療法

	1
抗癌剤・商品名	キイトルーダ
規格	20mg 100mg
一般名	ペムプロリズマブ
一日投与量(規定)	200mg/body
患者情報から算出した一日投与量	200 mg
実際の投与量	200 mg
投与日	day1
1クール期間	21日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	PD-L1陽性切除不能な進行・再発非小細胞肺癌
推奨経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
中止基準	Grade2以上の間質性肺疾患、大腸炎、下痢、肝障害、腎障害:Grade1以下に回復するまで休薬(キイトルーダ添付文書内の基準に準拠)
副作用	<p>●キイトルーダ</p> <p>重大 1.間質性肺疾患 2.大腸炎、重度の下痢 3.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、多形紅斑 4.類天疱瘡 5.神経障害 6.肝機能障害、肝炎 7.甲状腺機能障害 8.下垂体機能障害 9.副腎機能障害 10.1型糖尿病 11.腎障害 12.膵炎 13.筋炎、横紋筋融解症 14.重症筋無力症 15.脳炎、髄膜炎 16.Infusion reaction</p> <p>その他(10%以上) 下痢、悪心、疲労、そう痒症、発疹</p> <p>(1%以上) 貧血、眼乾燥、嘔吐、便秘、口内乾燥、腹痛、口内炎、無力症、発熱、悪寒、末梢性浮腫、インフルエンザ様疾患、倦怠感、ALT(GPT)増加、AST(GOT)増加、体重減少、血中Al-P増加、血中クレアチニン増加、血中TSH増加、血中ビリルビン増加、リンパ球数減少、食欲減退、高トリグリセリド血症、関節痛、筋肉痛、背部痛、四肢痛、筋痙縮、頭痛、味覚異常、浮動性めまい、咳嗽、呼吸困難、尋常性白斑、皮膚乾燥、斑状丘疹状皮疹、紅斑、湿疹、皮膚色素減少、そう痒性皮疹</p>
備考	

キイトルーダ単独療法 観察記録

所要時間:

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()	
医師	指示医師: キイトルーダ(mg) 一般名(ペムプロリズマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加	
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与 開始時間	調剤
投与指示	本体	側管			
	生食100mL		ルートキープ		
		生食100mL + キイトルーダ	30分かけて点滴【200mL/hr】 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用		
	本体終了後抜去				